

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	セフェム系およびマクロライド系抗菌薬の供給制限に伴う処方変更の動向と抗菌スペクトラムへの影響
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 内山大地
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027 年 12 月 31 日
対象者	2018年7月から2025年6月までの間に聖隷浜松病院で経口の抗菌薬を処方された外来および入院患者様。
研究の意義・目的	近年、抗菌薬（特にセフェム系およびマクロライド系）の供給制限が度重なり、処方現場では代替薬の選択を迫られる状況が続いています。こうした処方変更は、広域抗菌薬の使用増加や AMR（抗菌薬耐性）リスクの上昇につながる可能性があります。本研究では、供給制限によって実際にどのような処方変更が生じたかを明らかにすることを主目的とし、副次的にその変更が抗菌スペクトラムに与えた影響を DASC (Days of Antibiotic Spectrum Coverage) で定量的に評価します。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 患者情報(年齢、性別、身長、体重)、既往歴、入院病名、使用薬剤(投与量、投与期間含む)、診断名、アレルギー歴、副作用歴、臨床検査値(血清アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、BUN、血清クレアチニン、eGFR、CRP、PCT、白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血小板数、好塩基球数、好中球数、単球数、リンパ球数)、副作用の発現状況、臨床転帰、抗菌薬投与前の培養の有無、培養検体の種類、培養結果、感受性結果
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 内山大地 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日